

岩倉市男女共同参画基本計画 2021-2030 進捗状況報告書 2023
質疑一覧

施策：1－（１）－①

人権に関する教育・啓発

質問
・ 内容 成果指標☆2の人権啓発研修会の参加者数が昨年より倍増していますが、なぜですか。コロナ禍明けあるいはテーマが良かったのですか。
・ 回答 【担当課：福祉課】 新型コロナウイルスの5類感染症への移行により人の動きが活発になったことに加え、令和5年度に講師をお願いした日本福祉大学青木聖久教授の知名度の高さも動員に影響したものと推測しています。

質問、意見
・ 内容 人権教室がなぜ全校で行われていないのか、これだけ大事な問題を何で一部の学校でしか開催されていないのか、非常に気になります。 人権擁護委員による人権教室以外での、学校での人権教育の取り組みについて教えてください。
・ 回答 【担当課：協働安全課】 人権擁護委員が実施する人権教室は、1年ごとに小学校を持ち回りで実施していますが、学校の授業枠を確保することや人権擁護委員で全校を回することは難しいところがあるため、現状の対応となっています。 なお、学校の授業内で人権についての内容を取り扱っており、人権擁護委員の活動と連携して進めていきたいと考えています。 【担当課：学校教育課】 人権教室以外にも、各学校では様々な人権教育の取り組みを実施し、人権教育の推進を図っています。 【人権講演会】 ・ 式町 水晶氏（ヴァイオリニスト） 10月11日～11月30日／岩倉北小学校・岩倉南小学校・五条川小学校・曽野小学校・岩倉中学校 ・ 松本 紀生氏（写真家） 12月14日／岩倉東小学校 ・ 大野 寿子氏（闘病中の子ども達の支援活動者）

11月9日／南部中学校

・旭堂 麟林（講談師）

12月21日／南部中学校

【大型紙芝居の上演】

（11月～/各小学校）「四つ葉のクローバー」「そらをとびたかったペンギン」「いすになった木」「にじいろのしまうま」「2番目の悪者」「とべないホタル」「かたあしだちょうのエルフ」「にじ色のさかな」「ちびゴリラのちびちび」「たった3びきだけの池」

【人権ひまわりの啓発】

人権ひまわりの種の配布

質問、意見

・内容

子どもの声を生かした児童館事業として「こどものき・も・ちカード」を回収していますが、これをどう活かされていますか。

また、子どもの権利についてのアンケートの回収率も低いと思いますが、評価Aをつけられているのも気になりました。

・回答

【担当課：こども家庭課】

こどものき・も・ち企画は、子どもの意見を児童館事業に反映させるという企画です。令和5年度は、児童館でやりたいあそびというテーマで質問し、結果152件の意見が集まり、その中から選出したあそびを各児童館行事として実施しました。

第一児童館 きょだいマンカラであそぼう

第二児童館 クリスマスカざりつくりマス

第三児童館 逃走中

第四児童館 雪（新聞紙）であそぼう！

第五児童館 なわとびたいけつ

第六児童館 レッツラ！マンカラ！！

第七児童館 モルックアウト

子どもの権利についてのアンケートについては、新たな取り組みとして、小・中学校や保育園・幼稚園を通じて案内文を配布し、案内文に掲載した二次元バーコードを読み取っていただきWebで回答していただく形式で実施しました。

また、未就園児、市外へ通園している子どもの保護者と高校2年生にあたる年齢の子どもとその保護者には郵送により案内文を配布しWebで回答していただきました。通信環境がない方についてはアンケートを郵送する旨も案内して対応しました。

また、子どもの権利についてのアンケート調査の子ども用につきましては、小中学校の先生のサポートを受けながら学校でタブレットを用いて回答いただくようご協力をお願いして回収率の上昇に努めました。

アンケート調査を委託した業者の話では一般的なアンケート調査の回収率は高く40%程度ということでしたが、回収率の上昇に努めた結果、Web回答として新たに取り組

んだにも関わらず、比較的高い回収率とすることができたと考えています。
質問
・内容 人権講演会を開催したことで、「お互いを認め、自分や他者を大切にする意識を高めることができた。」と書かれていますが、そのように判断された根拠はなにかありますか。講演会終了後に生徒達同士の意見交換会をしたり、アンケートや感想文等を書いたりしたのでしょうか。
・回答 【担当課：学校教育課】 それぞれの講演会終了後には児童生徒に感想文を書いてもらい、それらで意見交換の場を設けることで、お互いを認め、自分や他者を大切にする意識を高めることができた根拠としております。

施策：1－（１）－②

ハラスメント防止の啓発

質問
・内容 成果指標☆3 ハラスメントに関する研修の実施数の実績として例年と同じ研修会を一回行っていますが、消防署内においてセクハラ事件が発生し、当事者は懲戒処分となりました。この事案を受けて、署内全体で再発防止のための独自の研修会や勉強会を行いましたか。あるいは、これまでの研修内容を顧み、内容の見直しや変更などが行われましたか。
・回答 【担当課：消防本部総務課】 武蔵野大学心理臨床センター精神保健福祉士を講師に消防職場のハラスメント対策研修会を実施しました。 全職員に対しハラスメントに対するチェックシートを用い、ハラスメントに該当する行為が行われていないかを確認することで、早期の把握ができるよう実施しました。 職員面談（目標管理面談等）でも定期的にハラスメントに対するチェックシートを活用し、確認を行い再発防止に努めています。 職員相談窓口を設置し、相談員として職員アンケートにより選考された3名を置いています。 【担当課：秘書人事課】 ゼロハラスメントの職場環境に向けて、ハラスメントをしない、起こさせない良好な職場づくりに努めるよう全職員あて通知しました。 令和6年度独自研修において、グループ長以上の職員を対象としたハラスメント防止研修の実施を予定しています。

質問・意見
・内容 カスタマーハラスメントの研修に参加した事業者が1事業者とありますが、1事業者しか参加しなかったのは何故でしょうか。せつかくの取り組みなので、もっと積極的に情報発信をし、より多くの事業者に参加して頂けると良いのではないかと思います。
・回答 【担当課：商工農政課】 市内金融機関、商工会、市福祉・介護担当課を通じて研修の周知を図っています。 市職員向け研修への参加ということもあり、会議などを通じ、事業の目的などをお伝えし、興味を持っている事業者がより多く参加して頂けるように取り組みます。

施策：1-（1）-③

国際理解の促進と多文化共生社会の実現に向けた啓発

質問、意見
市国際交流員が、学校教育に関わる時間が長く、一般市民と交流する機会がとても少ないです。より多くの市民と交流できるよう、お願いします。
・回答 【担当課：協働安全課】 当市では、国際交流員はALTとして中学校の英語授業補助を行うほか、国際交流の観点から、小学校や保育園で外国文化に触れる機会を提供するとともに、子育て支援センターで英語を使った遊びの機会を提供しています。 今後、市のイベント等への参加など、市民との触れ合いの時間も保てるよう検討します。

意見
市国際交流協会の日本語教室は「日本語ひろば岩倉」、外国籍子弟の学習支援は「みらいクラス」と表記していただきたいです。 また、1行目の協会の事業については「コロナ禍も明け、回復しつつあり」の状況です。
・回答 【担当課：協働安全課】 ご意見を参考に修正させていただきます。

質問、意見
・内容 成果指標☆4 国際交流や外国人との共生について満足している市民の割合についてのアンケート結果について、日本人側の満足度が高いのは非常に良いことですが、外国人側の満足度がどうなのかが非常に気になります。例えばですが、外国人の方が市役所を訪問された際に、アンケートをお願いするのはどうでしょうか。岩倉で暮らす外国人の皆さん

が、岩倉市での生活にどのくらい満足してくださっているのか、また、困りごとや必要としていることはなにかを知れるのではないのでしょうか。QRコードを読み取って答えるアンケートが良いかもしれません。外国人の皆さんのリアルな声を聴き、岩倉市がより質の高い多文化共生地域になっていったら良いと思います。

・回答

【担当課：協働安全課】

参考にさせていただきます。

施策：1－（１）－④

性的少数者への理解促進

意見

・内容

記載の表現ですが、LGBT より LGBTQ+ のほうが良いのではないのでしょうか。

・回答

【担当課：協働安全課】

現行計画では、LGBT と表記しておりますが、計画を見直す際には、参考にさせていただきます。

質問、意見

・内容

LGBT を直接扱った取り組みは難しいと書かれていますが、どういった理由からでしょうか。

LGBTQ+のみを取り扱うと余計に「ふつうとは違う人たち」といった認識になりかねないので、差別や偏見、誤解等を助長することがないよう、例えばハラスメント講習や人権・ジェンダーに関する講習等の一部に、LGBTQ+の内容が出てくるようなものが良いのかなと思います。決して特別な存在ではなく、身近に当たり前に存在しているんだという認識をもってもらい、知らず知らずのうちに当事者を傷つけたりすることのないよう、理解促進を図って頂けたら良いのではと思います。

・回答

【担当課：協働安全課】

ご指摘のとおり、当事者の差別や偏見、誤解等を助長につながることを心配されるため、実施に当たり参考にさせていただきます。

施策：1－（２）－①

啓発活動の推進

質問
・内容 昨年の学校教育課の回答に、「アンコンシャスバイアスに気づいている中学生は少ないと感じる」とありました。協働安全課の成果は「啓発を実施した」とありますが、この認識の違いは何でしょうか。あまり響かなかったのでしょうか。「啓発」は具体的に何をされたのですか。
・回答 【担当課：協働安全課】 市民に対しての啓発活動としては、生涯学習講座として全４回の男女共同参画講座を開催することや市役所やふれ愛まつり会場にてパネル展示を行うほか、男女共同参画に関する情報を広報誌に掲載するという取り組みを行いました。 中学３年生に対しては、男女共同参画基本計画概要版（パンフレット）の配付を啓発活動として行い、学校での人権教育に活用してもらいましたが、効果測定については行っていません。

質問、意見
アンコンシャス・バイアス対策として、中学生を中心に若年層に対する啓発を実施と書かれていますが、具体的にどのようなことをされたのでしょうか。実施した結果、どのような成果が得られましたか。 また、若年層のみでなく、幅広い世代への啓発が必要だと感じますが、今後は若年層以外にもなにか啓発活動をされる予定はありますか。
・回答 【担当課：協働安全課】 記載のとおり、中学３年生に対し概要版を配付して理解増進に努めました。効果測定は行っていません。 広報やイベント時のパネル展示等により啓発を進めていくことを考えています。

施策：1－（2）－②

学校教育を通じた男女共同参画社会への理解

質問
・ 内容 制服の見直しの結果、学校現場においてどのような変化がみられましたか。生徒たちの意識に変化はありましたか。
・ 回答 【担当課：学校教育課】 新学年からの変更であり、2・3年生は旧制服を着用している生徒も多いため、学校現場からは制服見直し後の意見などはいたっていないませんが、気候に応じた調整がしやすくなったため、今年度の猛暑などに有効的であったかと思われます。

質問
・ 内容 学年に応じた男女平等・男女尊重や性の多様性等への理解を深める教育の推進とは、具体的にどのような方法での推進でしょうか。学年に応じた内容を資料としてまとめるのか、なにか講演等を行うのか、どのようなことを考えられていますか。
・ 回答 【担当課：学校教育課】 資料としてまとめることは行っておりませんが、進捗状況報告書にもありますように、男女混合名簿やいのちの授業の取り組み、令和6年度は制服の見直しなどを行うことで推進を行っております。

施策：1－（3）－②

地域における市民活動への支援

質問
・ 内容 成果指標☆1の男女共同参画に関する講座・イベントの参加者数について、R1とR5を比較し、男女共同参画に関する講座・イベント参加者数は半分以下になっています。また、成果指標☆2市民活動に参加している市民の割合についても減少となっていますが、目標値を大きく下回り、更には減少までしているのはこういった原因が考えられますか。また、参加者の年齢層や性別も気になります。
・ 回答 【担当課：協働安全課】 まず令和元年度はコロナ以前であり、かつ生涯学習講座の一コマに世界的に人気のある店の商品を取り扱う講座内容が含まれていたことに加え、財団のサテライトセミナーも実施されたことから参加者数が多くなっています。令和5年度はサテライトセミナーの実施される年ではなかったこともあり、比較して減少となっていますが、啓発として行

った生涯学習講座は、LGBT の内容も盛り込み良い内容であったと認識しています。
また、成果指標 2 についても、コロナの影響が残っているものと認識しています。

施策：2-（1）-①

雇用対策の充実、就業・生活支援

質問
・内容 成果指標☆2 の生活自立支援相談室における延べ相談数が、目標値の倍以上になっていますが、この倍増の原因は、1 人の方の複数回相談で延べ数が増えているのですか。この相談件数の増加の原因は何と考えていらっしゃいますか。 また、目標値をこのまま低い値のままにするのですか。相談しやすい環境を整え、相談数の増加を目標とするのが良いかどうかは分かりませんが。
・回答 【担当課：福祉課】 コロナ禍による支援施策の相談等にもとない令和 2 年度の相談件数は前年度の 478 件から 1,241 件と大きく増加しました。社会状況により相談件数の増減がみられる状況です。また、継続した相談支援が実施できるよう相談機関においても次回の面談の約束をとりつけるなど、継続支援から本人の自立助長につながるような支援に取り組んでいます。

施策：2-（1）-②

人材育成・能力開発の支援

質問
・内容 勤労者としてのキャリアプランニングと同時に生活者としてのワーク・ライフ・バランスについて学ぶ機会がありますか。
・回答 【担当課：学校教育課】 具体的に生活者としてのワーク・ライフ・バランスについて学ぶ機会を設けてはいませんが、小中学校の発達段階に応じた職場体験を中心としたキャリア教育を進めています。

施策：2-（2）-①

労働環境の整備

施策：2-（2）-②

女性の就労環境改善に向けた普及・啓発・支援

意見
・内容 昨年度、広報やリーフレットだけでなく、もっと直接的な働きかけが必要だという意見を出させて頂きましたが、内容が変わっていないように思います。職場で男女が平等であると感じていない女性が大多数という結果を踏まえ、女性側に対する支援はもちろんのこと、男性側の意識改革も非常に重要であるので、もっと前向きな取り組みをお願いしたいです。
・回答 <u>【担当課：商工農政課】</u> 広報やリーフレットでの周知、市役所を会場とし、事業所を対象とした愛知働き方改革推進支援センターの出張相談に対応しています。 また、引き続き、より効果的な取り組み方法を検討していきます。

施策：2-（2）-②

女性の就労環境改善に向けた普及・啓発・支援

質問
・内容 リーフレット等の内容は分かりませんが、事業所への啓発以外に、商工農政課から広く市民に啓発する取組となっていますか。
・回答 <u>【担当課：商工農政課】</u> 事業実績で報告した内容と重複しますが、広く市民に啓発する取り組みとしては、愛知県が行う、再就職を考える女性を応援する「ママ・ジョブ・あいち」の出張相談を岩倉で実施した。また、女性たちの職場復帰・再就職準備セミナーを開催した。

施策：2-（3）-①

ワーク・ライフ・バランスの普及や多様な働き方と暮らし方の促進

質問
・内容 成果指標☆2の男性職員の育児休業の取得率について、昨年、「100%をめざす」との回答でしたが、昨年同様R12の目標値「一」となっています。『基本計画』が「一」だと、訂正なくずっと「一」ということですか。 育児休暇取得率は向上していますが、介護休暇や介護離職の現状はどのようなになってい

ますか。
・回答 【担当課：秘書人事課】 育児休業の取得率目標値は、岩倉市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（以下「計画」という。）に規定しています。計画期間が令和３年度～令和７年度であることから、令和１２年度の目標値は定めていません。 なお、「こども未来戦略方針」（令和５年６月１３日閣議決定）において、国・地方の公務員に係る男性の育児休業取得率の政府目標（現行は令和７年までに３０％）について、令和７年までに１週間以上の取得率を８５％に引き上げることとされたことから、岩倉市においてもこの趣旨に則り、令和６年３月に目標値を１０％から８５％に改定しています。 また、介護休暇は、近年１年に１名程度が取得しており、介護を理由として離職する事例は認識していません。

質問
・内容 成果指標☆２男性職員の育児休業の取得率が、５．６％から７１．４％と、大幅に伸びていますが、取得された男性職員の皆さんは、どのくらいの期間の育児休業を取得されたのでしょうか。また、取得されなかった方は、こういった理由で取得されなかったのでしょうか。
・回答 【担当課：秘書人事課】 取得期間については、全体の取得者数１０名のうち、１月未満が０名、１月以上６月未満が６名、６月以上１年未満が１名、１年以上が３名です。 なお、取得しなかった理由の聞取り等は行っていません。

施策：２－（３）－②

家庭生活・地域活動における男女共同参画の促進

質問
・内容 個人差はありますが、ケアマネさんが「親孝行の呪い」をかけたり、育児の先輩が講師として「３歳児神話」や「母性神話」を熱く語ったりということがあります。このようなケアマネさんや講師にあたってしまうと相談者、受講者は不安になってしまいませんか。講師の意識を確認してお願いしていますか。
・回答 【担当課：長寿介護課】 ケアマネさんについては、親孝行の呪いをかけることなく、適切に介護サービスに繋がっているものと考えています。 【担当課：健康課】 講師の選定にあたっては目的や意図をお伝えしており、当日の内容もスタッフが確認し

ています。

【担当課：こども家庭課】

子育て支援センターでは、愛着形成を円滑に進めるために、子育て中の保護者の立場や心情に共感し、保護者が自己を肯定できるようなコミュニケーションを心がけて相談業務を実施しています。また、保護者自身が健康でバランスの取れた状態であることが、こどもにとっても良い環境となることが重要であるため、バランスボールやヨガを取り入れた子育て講座も実施しています。育児に対して不安を抱えている保護者に対しても、子育て支援センターにおいて面談や電話にて相談を実施し、日常的な来所においても保護者の様子を見ながら丁寧な声掛けを行っています。

意見

・内容

認知症サポーター養成については、4-(2)-①で記載されていますが、介護者を初めて受け入れるかもしれない家族や将来の介護について知識をつけておきたい人たちに対して、介護について学習する機会の実績が介護保険の説明会だけでは、不十分のような気がします。昨年の回答の市民講座や映画上映会はどこの実績になっていますか。この欄への記載でもいいのではないのでしょうか。

・回答

【担当課：長寿介護課】

介護について学ぶ機会については、介護保険制度説明会の他、岩倉まちづくり出前講座にも介護保険制度の講座を設けています。また、在宅医療・介護連携推進事業でも市民向けの出張勉強会等を行っておりますので、周知に努めます。

市民講座や映画上映会をどの施策に記載すべきかは検討していきたいと思います。

意見

・内容

昨年度も書かせて頂きましたが、セミナーや説明会、講座等を、より多くの方が参加できるように、オンライン併用のハイブリッド開催にしたり、アーカイブ配信をしたり等、開催方法をもっと増やすことはできませんか。若い世代は、男女問わず仕事や子育てで、なかなか決まった時間に会場に足を運んで参加しに行くことが難しいことも多いです。参加したくても参加できないという方もいると思うので、岩倉市の素晴らしい取り組みを、開催方法を増やすことで、より多くの人に届けられたらと思いました。

・回答

【担当課：長寿介護課】

介護保険制度説明会については、ホームページに資料を公開しておりますが、その他の講座等の公開や、オンライン開催、アーカイブ配信などについては、開催方法を検討していきたいと思います。

施策：3－（１）－①

審議会などへの女性の参画の拡大

質問
・内容 各種審議会の女性登用率の一覧表をお示し下さい。昨年の会議の回答であった「防災会議の女性審議員 50%めざす」には近づきましたか。
・回答 【担当課：協働安全課】 一覧表は別添のとおりです。防災会議は各種団体の代表者を任命しているため、現状変更はありません。

意見
・内容 女性登用率が全体で 35.2%とのことですが、女性委員がいない審議会がゼロになるよう、すべての審議会に 35%以上を目指して頂きたいです。人材発掘のために市民委員登録制度の周知を行っていくと書かれていますが、登録制度の周知に加え、様々な団体への積極的な声掛けや連携を図っていくのはどうでしょうか。必ず人材はいます。
・回答 【担当課：協働安全課】 参考にさせていただきます。

施策：3－（２）－①

地域コミュニティ活動の充実・支援

質問
・内容 老人クラブの女性役員登用率が低くなっている要因は何であると考えられますか。登用率を上げるために、具体的にどういった働きかけをされるのでしょうか。
・回答 【担当課：長寿介護課】 老人クラブの組織として、役員 33 名の中では、女性は 5 名のみですが、各単位クラブに女性部長が 1 人ずつ配置しています。 なお、登用率を上げるための、具体的な働きかけは出来ていません。

施策：3－（２）－②

市民活動・市民協働の活性化

意見
・内容 未来寄合の開催で各地区の特性、展望が広がる良い機会の創出だったと思います。これまでも、何度も「まちづくり」「町おこし」などの会議や集まりがあり、「いわくら」を見つめ直してきました。参加者は非常に楽しく前向きに参加できたのですが、その集約された結果が具象化・継続性のあるものとしてみえた、と一市民としては断言できません。未来寄合の今後に期待しております。
・回答 【担当課：協働安全課】 ご意見ありがとうございます。未来寄合では、地域課題を抽出しその課題解決のために地域と一緒に取り組んでいくことを想定しています。今後、モデル地域を選定し、アンケートを行ったのち、地域内で取り組む内容を地域住民とともに具体化していけるよう検討を進めております。

質問、意見
・内容 児童館母親クラブは、母親しか入れませんか。新しい母親クラブの形を検討していくことですが、さまざまな家庭があるので、いろいろな方が参加できるよう、また、若い世代へ継承していくためにも、「母親」というネーミングにはこだわらなくて良いのではないかと思います。
・回答 【担当課：こども家庭課】 ご意見ありがとうございます。母親以外の方でも入会していただけますので、ネーミング等につきましては、今後クラブのみなさんと相談していきます。

施策：3-（2）-③

地域における国際理解と多文化共生の推進

質問
・内容 成果指標☆5 国際交流や外国人との共生に満足している市民のR5実績値は93.6%ですが、広報5月号に掲載された令和5年度に実施した市民意向調査結果では重要度も満足度も低い位置にありました。この差異の発生は、どちらも市民ですが、調査対象によるものでしょうか。この差異をどのように解釈し、対応しますか。
・回答 【担当課：協働安全課】 調査対象は無作為抽出によるものであることから、普段外国人と接する機会のない方の回答も含まれているため、高評価となっている側面も想定されます。意向調査の結果としては、全体として関心の低さが想定され、多文化共生施策の更なる推進が必要であると考えています。

意見
・内容 日本語を学びたい学習者は、コロナ禍が明け、次第に増え（特にアジア系）ています。国際交流協会の日本語教室だけでは、スタッフや開催日時の少なさもあり、入室待ちが恒常的に発生しています。この状況を打開するための支援をお願いします。
・回答 【担当課：協働安全課】 国際交流協会の日本語教室「日本語ひろば岩倉」については非常に重要な取組であり、実施に関し感謝しております。活動に対する支援を進めていけるよう検討します。

意見
・内容 学習支援「みらいクラス」の児童や生徒も増加傾向にあり、しかし、スタッフ人数は開所当時のままです。子どもの将来を左右しかねない責任もありますが、教員や塾講師など経験者の学習支援スタッフの支援をお願いします。
・回答 【担当課：協働安全課】 外国人児童向けの学習支援である「みらいクラス」については非常に重要な取組であり、実施に関し感謝しております。活動に対する支援を進めていけるよう検討します。

質問
・内容 中学生のモンゴルへの海外派遣事業は、学校現場の多文化共生を学ぶ生徒全体におい

て、どのような位置を占めていますか。
・回答 【担当課：学校教育課】 海外派遣事業参加者は 10 人ですが、派遣後、参加者を中心とした派遣報告会を両中学校等で実施するなど、多文化共生を学べる機会を設けています。

施策：3-（3）-①

地域リーダーの育成

質問
・内容 災害ボランティア講座の参加者の半数以上が女性です。この講座では、災害時のボランティアを適材適所に配置するなどの管理、運営を行うリーダーの養成もしていますか。 防災訓練を行った際、女性や若い世代の新鮮な視点が見いだされましたか。
・回答 【担当課：協働安全課】 以前は、管理運営を行う災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施していたようですが、参加人数の減少やボランティアの高齢化などもあり、災害ボランティアコーディネーター養成講座ではなく、災害ボランティア講座にシフトしたようです。 防災訓練に限らず、女性視点の重要性は認識しています。避難所での女性専用相談窓口の設置など新たな発見もありました。

質問
・内容 「健幸づくりサポーター」として、保健推進員、食の健康づくり推進員の仕事に加え、新しいアプローチとしてはどのような取組をしますか。
・回答 【担当課：健康課】 市民を対象として健幸づくりサポーター養成講座を開催し、健康づくりボランティアを募り、養成しました。行政区単位で実施していた保健推進員活動を市全体の健幸づくりサポーター事業とすることで、行政区に関わらずに市民が参加しやすいようにしました。

施策：3-（3）-①

地域リーダーの育成

施策：3-（3）-④

防犯・防災活動や福祉・保健活動への参画の促進

質問
・内容 昨年度、以下のような内容を書かせて頂きました。より多様な方が参画できるよう、開催方法についての検討や男女で役割が偏らないような配慮等はなにかして頂けましたか。1年前と比較して、なにか変化はあったのでしょうか。 大きな災害があつてからでは遅いので、ぜひ積極的な取り組みをお願いしたいです。 「災害時には平常時における社会の課題がより浮き彫りになる」 防犯や防災、環境活動においては、女性や若者等の意見やアイデアは絶対的に不可欠かと思いますが、まだまだ女性や若者の参画が少なすぎるように感じます。災害時や非常時においては、女性・高齢者・障がい者・子育て世帯・外国人等はどうしても災害弱者になります。そういった災害弱者になりうる人たちの声をあらかじめ政策に取り入れておくことは、いざというときにはすべての人にとって必ず役に立ちます。もっと積極的に女性や若者、そして外国人の方等が地域の防犯・防災活動に参加できる仕組み作りをして頂ければと思います。また、防災訓練や講座開催においては、開催方法（ハイブリッド開催や託児等）についての検討、男女で役割が極端に偏らないような配慮をしっかりとお願いしたいです。
・回答 【担当課：協働安全課】 災害時の女性目線は非常に重要と考えており、訓練や講話などの機会を捉えて、避難所の開設や運営管理、プライバシーの配慮について、女性目線での対応を市民に周知しています。また、高齢者・障がい者・外国人など各種団体とは個別に出前講座などで訓練や講座を実施し、意識の向上を図っています。 また、防災訓練や講座開催などの開催については、誰でも参加 OK で開催しています。 【担当課：福祉課】 岩倉市赤十字奉仕団は、従前から女性が中心となり、市と協力して地域で防災活動等に取り組んでいます。 避難行動要支援者名簿及び個別避難支援計画の作成については、個人情報を取り扱うことから手上げ方式を採用しているため、より多くの方々に取組を知っていただくための周知が課題であると認識しています。 【担当課：健康課】 ご意見ありがとうございます。 【担当課：消防本部総務課】 消防団活動に多くの方に参加いただくために、消防団には、火災等の現場活動に従事す

る基本団員と応急手当講習の指導補助、住宅用火災警報器の普及啓発活動等に従事する機能別団員を制度化しています。

また、小学生を対象に少年消防クラブを組織し、防火・防災思想の普及を図っています。

施策：3-（3）-②

地域リーダーのネットワークづくり

質問
・内容 「未来寄合」について 昨年度「呼びかけ」から「開催」までかなり精力的に展開されましたが、その後の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。 せっかく集まって意見を交換したのに、その後の報告がないのは残念です。
・回答 【担当課：協働安全課】 ご意見ありがとうございます。未来寄合では、地域課題を抽出しその課題解決のために地域と一緒に取り組んでいくことを想定しています。今後、モデル地域を選定し、アンケートを行ったのち、地域内で取り組む内容を地域住民とともに具体化していけるよう検討を進めております。

施策：3-（3）-③

子どもや若者の育成支援のためのネットワークづくり

質問
・内容 今後の取り組みとして、アウトリーチに通じた継続的支援とありますが、具体的にはどのような取組をする予定ですか。
・回答 【担当課：福祉課】 令和6年度から福祉課にて「重層的支援体制整備事業」の一環として、福祉総合相談窓口を設置し、社会福祉士や保健師を配置しています。引きこもり相談があった際には、必要に応じて職員が自宅訪問するなどアウトリーチを通じた支援を実施しています。

質問
・内容 コミュニティが出来上がっているいないに関わらず、孤立しやすい外国籍の母親たちに対し、日本人も含めたネットワーク化にむけて支援を行っていますか。
・回答 【担当課：健康課】 外国籍の母親たちに特化したネットワーク化に向けた支援は行っていないですが、出産し

た母親全員に訪問または面談を実施し、様々な子育て情報の案内をする中で、親子で参加できる交流会も紹介しています。

意見

・内容

プレママと新米ママの教室のように、プレパパと新米パパの教室があったら良いと思います。ママはお腹に赤ちゃんが宿った時点で体も心もママになりますが、パパは子どもが生まれるまで（人によっては生まれたあとも）、なかなかパパになったことを感じにくい場合があります。既にパパママセミナーを開催しているかと思いますが、発展版のようなイメージです。プレママ新米ママ教室のように、パパ向けのもあれば、パパも”共に”子育てをしていくんだという意識がより強くなるのではないかと思います。また、パパも不安だと思うので、パパたち同士の横のつながりを作る場の提供といういみでも、ぜひ開催の検討をして頂きたいです。開催方法については、一人でも多くの方が参加できるよう、ハイブリッド開催が良いのではと思います。

・回答

【担当課：健康課】

パパママセミナーの参加者に実施したアンケートによると他の父親との交流を求める人は28.2%でした。陣痛から出産の流れ31人、パパからママと児への関りかたを知りたいといった声もありましたので、いただいたご意見を参考に検討していきます。

質問

・内容

福祉課など、5つの課の取り組みについて、事業をより良いものにするために検討したことはありますか。

それぞれの取り組みが独立しているように思えますが、課内や他課と連携することはありますか。

・回答

【担当課：福祉課】

ひきこもり事例について、学校教育課をはじめとした各課とはケース検討会議を通じて情報共有を行い、ひきこもりサロンなどの社会資源につなげられるよう連携を図っています。

【担当課：健康課】

健康課は、毎年度教室の内容等を見直しして実施しています。

こども家庭課および生涯学習課、学校教育課と連携して子どもの育成支援につながる取り組みを行っています。

【担当課：学校教育課】

学校教育課にスクールソーシャルワーカーを配置して、家庭問題等を抱える保護者や子どもの相談に乗り、問題解決に向けて、学校内、あるいは行政の福祉部門や児童相談センター等、学校の枠を超えて、関係機関と連携した対応に努めています。

また要保護児童等対策定例会・顔の見える連携会議に出席したり、必要と判断したケースについては断らない相談支援会議の議題に挙げたりすることで、他課との連携を行っています。

【担当課：生涯学習課】

支援が必要な子どもの状況把握のため、青少年問題協議会専門委員会が行っている「青少年に関する生活実態調査」の設問として、ヤングケアラーに関する項目の追加について検討しています。

青少年問題協議会専門委員会では、こども家庭課から指導保育士が参加しており、保育の現場から見た子どもの育成支援について情報交換を行っています。

【担当課：こども家庭課】

こども家庭課から青少年問題協議会専門委員会委員として指導保育士が、地域自立支援協議会委員として児童館長及び統括支援員が選任されており、他課との連携を図っています。

施策：4-（1）-①

母子の健康づくりの支援

施策：4-（1）-②

子育て、子育て・親育ち支援

質問、意見

・内容

R1とR5を比較し、成果指標☆3この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合が引き続き9割以上と高い中、☆2幼い子どもを育てる所として”良い”と思う市民の割合が更に減っており、☆1母子保健サービスに満足している市民の割合も1割程下がっています。なにが要因と考えられますか。

例えばですが、子どもの検診で保健センターに母親が来るときに、アンケートを取るのはいかがでしょうか。待ち時間に携帯を使用して簡単に答えられるように、QRコードを読み取って、携帯でアンケートに答える形であれば、子育て世代のリアルな声が聴けると思います。

・回答

【担当課：こども家庭課】

ご意見ありがとうございます。

アンケートの回答には、その時点での社会情勢や経済の状況等も大きく影響されてくると考えております。今後も様々な機会を見て、子育て世帯の声を聞いていきたいと思えます。

【担当課：健康課】

母子保健サービスに対する満足度が下がった理由としては、コロナ禍で感染防止のため母子保健サービスを縮小や内容変更して実施した時期があったことが影響していると思われます。乳幼児健康診査では、問診票の中で母子保健サービスの満足度をきいており、

成果指標☆3は、乳幼児健康診査を受診した人の結果となっています。また、産後に保健師や助産師からの指導・ケアを十分に受けることができた人の割合は、R1 89.5%→R5 90.5%と増加しており、母子保健サービスの一定の水準は確保できていると思われます。

施策：4-（1）-②

子育て、子育て・親育ち支援

質問
・内容 かつて岩倉市は子育てしやすい街として自負していた時代もあったのですが、現在、成果指標☆2 幼い子供を育てる所として“良い”と思う市民の割合が減少し、残念なことです。この停滞感をどのように分析しますか。
・回答 【担当課：こども家庭課】 本市では、現在でも、子育てしやすいまちを目指して様々な施策を実施しております。しかし、情報として子育て世代に浸透していない状況があると感じていました。そこで、今までに行ってきた子育て支援策に加えて、令和6年度から新たに実施したものや拡充したものを加え、主なものを「岩倉市こどもまんなかアクション」としてライフステージ順に取りまとめ分かりやすく一覧表にしました。合わせて、「こどもまんなか応援サポーター」となって、こどもまんなかアクションを進め、こどもが安心して成長できる社会を作り、彼らが自己実現し、自身の夢を追求できる環境をつくることを決意し、こどもの未来を応援していくことを宣言しました。 子育てしやすいまちづくりを進め、こどもが成長する過程で、その瞬間にしかない子育ての喜びを大切にできる環境を作り、その子育ての喜びを、2人目、3人目へとつなげていけるようなまちとなるよう取り組んでいきます。

質問
・内容 今後の取り組みとして記載のある、アンケートで把握した情報と保健事業の参加時に保護者のニーズを把握し、教室等での情報提供するとは具体的にどのようなことを行いますか。
・回答 【担当課：健康課】 パパママセミナーについてのアンケート結果では、「父母共に産前に用意しておく」とよいこと、「パパ、ママの心得について知りたい」「沐浴」という回答が多かったため、講義に具体的な内容を取り入れました。また、アプリやホームページから情報を入手する傾向があるため、市ホームページに育児に関する動画の周知をするとともに、参加申し込みを電子申請できるようにしました。

質問
・内容 子育てサポーターによる子育て親育ちに関する講話とありますが、どのような内容の講話ですか。 また、子育てサポーターはどのような方になっていますか。(団体、個人ボランティア、主婦など)
・回答 【担当課：生涯学習課】 4か月児健診の際に乳児期子育て親育ちミニ講座として実施しており、愛着形成の重要性と子育てについての相談先の紹介です。 子育てネットワーカーは、愛知県主催の「親の育ち」家庭教育支援者養成講座」の修了者で、乳幼児から小中学生の子をもつ親の家庭教育や子育てについての相談に応じるなどの活動している個人の方です。

施策：4-（1）-③

子どもを守る地域環境の整備

質問、意見
・内容 この夏の猛暑も大変でしたが、子どもたちの暑さ対策として、「子ども 110 番の家」のようなクールシェア空間や、ニュースでありましたが企業支援による給水所の飲料提供などに取り組む予定はありますか。
・回答 【担当課：学校教育課】 「子ども 110 番の家」のようなクールシェア空間としては、PTA を中心に一部の小学校で取り組みが行われています。企業支援による給水所の飲料提供などに取り組む予定は現在ございません。

質問
・内容 「岩倉市交通安全母の会」の名称変更の予定はありませんか。
・回答 【担当課：協働安全課】 令和6年5月に「岩倉市交通安全保護者会」へ名称を変更しました。

施策：4-（2）-②

高齢者を支える体制の充実と権利擁護

質問
・内容 タクシー料金の助成はありますが、タクシーを使用し、1人で買い物に行くことが身体的にも不安な場合、ヘルパーさんが付き添うなどの支援はありますか。
・回答 【担当課：長寿介護課】 要介護認定を受けている方であれば、必要に応じて、介護保険サービスの訪問介護でヘルパーさんの同行が可能な場合があります。

質問
・内容 すこやかタクシーの利用件数と利用者の年代・男女別の利用状況を教えてください。 また、予約の電話の際、「今からなら受付できるが、予約は受け付けられない」ということがあったと聞いたことがあります。予約はできませんか。
・回答 【担当課：長寿介護課】 令和5年度の申請者数は乗降介助有りのものを含め1,021人、交付枚数は23,432枚であり、そのうちの利用枚数は6,470枚です。 利用者の把握は行っておりませんが、申請者の年代、男女別申請状況は、80歳代は667名（男259名、女408名）、90歳代は349名（男152名、女197名）、100歳代は5名（男1名、女4名）となっています。 また、すこやかタクシー利用券は、（通常と同じように）タクシーを利用する際に、利用券をタクシーの運転手に渡していただくことで利用することができます。そのため、予約方法は通常のタクシーと同様となりますので、すこやかタクシー利用券を利用することにより、タクシーの予約ができないということはありません。 ただし、タクシー業者の都合により、予約ができない場合もあるかと思えます。

施策：4-（3）-①

性差を踏まえた健康づくり

意見
・内容 成果指標☆2子宮頸がん検診を受診している女性の割合がR1よりも更に減ってしまっています。今後の取り組みにも記載がありますが、がん検診が受診しやすい体制を整えることは急務だと思います。書かれているように、WEB予約ができるようになれば、受診率は上がるのではないのでしょうか。現状、子宮頸がん検診の予約は、保健センターへの電話申し込みです。電話がつながる時間や曜日が決まっているため、その時間曜日にかけられないこともあります。また、なかなか電話できないうちに、予約可能人数がいっぱいになってしまったり、申し込み期日が過ぎてしまったりということもあるので、24時間いつ

でも予約ができるよう、WEB 申し込みの導入を早急にお願いしたいです。
・ 回答 【担当課：健康課】 令和 6 年度は、10 月 9～12 日の 4 日間をヤング week と題し、20～39 歳の人を対象に WEB 予約限定の検診日を設け、WEB 予約の試行を行いました。詳しい分析や評価は今後行っていますが、利便性の向上や受診者数の増加に一定の効果が見受けられました。 令和 7 年度からは、WEB 予約の対象年齢や検診日を拡大し、実施していく予定です。

施策：4－（3）－③

性感染症対策や性教育の推進

意見
・ 内容 小学生向けにも、年齢に応じた性教育をして頂きたいです。今は小学生でも、高学年くらいになると性交渉をする子はいるので、早期教育が非常に重要であると思います。また、低学年においては、体の大事な部分はどこか、他人に体を触られたり写真を撮られたりすることは性犯罪被害であること等、自分で自分を守ることができるようにしっかり教えてあげる必要があると思います。各家庭で保護者皆ができれば良いですが、なかなか難しいと思うので、学校で教えてあげられると良いと思います。
・ 回答 【担当課：健康課】 以前に、小学校において養護教諭と連携し健康教育を行っていました。今後も必要に応じて、学校教育課と連携して事業を行います。 【担当課：学校教育課】 小学校では保健の授業、中学校では保健体育の授業において、年齢に応じた性教育を行っています。

施策：4－（3）－④

成人の健康づくりの支援

質問
・内容 胃カメラや局部麻酔などの受診費用は不明ですが、高齢者が受診をためらう胃のバリウム検査など、より受診してもいいかなと思える取組をしていますか。 血液検査項目に腫瘍マーカーなどを増やすなどの支援はできませんか。
・回答 【担当課：健康課】 集団検診の胃バリウム検査の自己負担が1,300円なのに対して、個別検診の胃バリウム検査は4,000円（令和5年度）と高額でしたが、令和6年度から2,500円に自己負担額を少なくしました。また、個別検診の胃カメラは5,200円（令和5年度）だったものを、令和6年度から3,500円に引き下げたことで、選択して受診しやすくなったと考えています。 がん検診の実施方法としては、厚生労働省の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に準じて実施していますので、腫瘍マーカー等、独自の方法を導入する予定は今のところありません。

施策：4-（4）-②

障がい者の生活の安定と自立のための支援

質問
・内容 成果指標☆2生活・自立支援など障害者（児）福祉に満足している市民の割合は83.5%ですが、実際に当事者たる障がい者及びその家族の満足度はいかがですか。
・回答 【担当課：福祉課】 第6期岩倉市障がい者計画の策定にあたり、当事者に対するアンケートを実施しておりますが、満足度調査ではありませんので、障がい者・児福祉全般に満足しているかといった趣旨の設問は設定していません。 なお、アンケートの結果については、計画書内で個別の生活場面におけるニーズの掘り起こしのための分析をしています。

質問
・内容 成果指標☆4グループホームで生活している障がい者の人数は倍増しており、かつ、目標値を超えています。 今後、障がい者及び世話をしている主に親が高齢化し、日本人の利用者が増加するだけでなく、外国籍の利用者も増えていくと予想されます。現場は疲弊していませんか。 ヘルパーさんの人材育成には時間も費用もかかります。インドネシア、ブラジル系などの外国籍のヘルパーさんの採用は増加していますか。

今後、ヘルパー不足、それに伴うサービスの低下などに対し、どのように対応していく予定ですか。
・回答 【担当課：福祉課】 障がい者福祉において、障がい者が生まれ育った地域で暮らすこと、親亡き後の生活拠点を確保することが、非常に重要であります。そのためには、グループホームや居宅介護が果たす役割は大きいものであると認識しています。事業所の増加に向けて、関係機関と連携し、支援していく必要があると考えています。 一方で、受け皿となる介護事業所には、人材確保について課題があることも認識しています。一般的に、他業種に比べ人材の定着率が低いと言われることについて、現場の疲弊感が原因となっている可能性は否定できません。事業所の課題解決の側面から、人材の確保・定着についても、関係機関と連携を図りながら支援を進める必要があります。 なお、各事業所で外国籍の方がヘルパー等として雇用されているかについては、現在のところ把握しておりません。

施策：4-（4）-③

複合的に困難な状況に置かれている家庭への相談・支援体制の充実

質問、意見
・内容 昨年、「ヤングケアラー」や「きょうだい児」への支援や心のケアサポートについて福祉課からの質問の回答が「気になる児童がいた場合、児童虐待対応等での関係機関で情報共有され、連携を図りながら支援」とありましたが、「ヤングケアラー」「きょうだい児」は虐待事案ですか。このような認識では、彼らの「心」が救われる気がしません。 また、対応等の「等」は具体的に何が含まれていますか。
・回答 【担当課：こども家庭課】 ヤングケアラー支援については、日頃からの児童との関わりの中から、些細な変化からの気づきや相談があると考えます。児童福祉分野において、気になる児童を把握した場合、家庭児童相談室を中心に、関係機関で検討する場で情報共有して、連携を図りながら介入しています。 この関係機関で情報共有をする場では、虐待が疑われる事案の他、養育環境の心配や子育てに不安の強い事案なども含まれ、児童虐待対応以外の支援も検討しているため、こうした表現となっています。

質問
・内容

ホームスタート事業が実施されていると伺いました。 「ホームスタートいわくら」のメンバー構成（オーガナイザー・ホームビジターの役割）と仕事など、具体的に教えてください。 評価Aであることから、今後の発展に期待します。
・回答 【担当課：こども家庭課】 「ホームスタートいわくら」のメンバー構成としては、オーガナイザー2人とホームビジターが15人となっています。 役割としては、オーガナイザーは、依頼者の状況を聞き取り、ホームビジターの選出や訪問日の日程調整等を行います。ホームビジターは、一定期間の研修を受けた後に、小さなお子さんのいる家庭を訪問し、保護者と一っしょにお話しをしながら、一っしょに家事や育児をするボランティア活動を行います。

施策：5－（１）－②

女性や若年層に対する性暴力やDVの根絶

意見
・内容 ある集まりで「デートDV」（経済的暴力、精神的暴力、性暴力など）に関するDVDを視聴しながら、年配の男性から「こんなことあるの？昔はなかった。」という発言がありました。かつては、給与が現金支払いだった時代に給与を家に入れないなどの経済的暴力もあったにも関わらず、「男の甲斐性」で黙殺されてきました。いまだ意識の変わらない世代もいるのだと実感した次第です。 幅広い年代に向け、それぞれの世代に生きてきた時代を考慮した啓発活動が必要と考えます。
・回答 【担当課：こども家庭課】 デートDVなど配偶者、交際相手、性別に関わらず、暴力、性暴力の防止の意識啓発に向けた広報活動を検討し、周知に努めます。 またそれぞれの被害に対する相談窓口も幅広く設置されているため、被害者が相談できるように相談窓口の周知啓発にも努めます。

意見
・内容 相談窓口が分からない人たちのためには、広報紙や岩倉市のHP上等で、相談窓口の周知を積極的に図って頂きたいです。相談窓口は分かっている人も、相談しにくさを感じている人たちのためには、気軽に相談できるよう、記載の仕方にも工夫が必要かと思います。また、男性の被害者は、女性以上に相談しづらいのが現状です。男性の被害者も相談しやすいようにしていく必要があるかと思います。

・回答

【担当課：こども家庭課】

ご意見ありがとうございます。今後も、誰もが相談しやすい環境づくりに努めていきます。

施策：5－（１）－③

児童虐待の防止・早期発見

意見

・内容

今後の取り組み内容について、切れ目のない相談・支援があることで、児童虐待の多くは防げると思うので、非常に良い取り組みだと思います。189の周知については、広報紙にも掲載しつつ、チラシも一緒に挟み込むのはどうでしょうか。

・回答

【担当課：こども家庭課】

ご意見ありがとうございます。今後も、周知に取り組んでいきます。

施策：5－（１）－④

高齢者虐待の防止・早期発見

意見

・内容

児童虐待と同様、広報紙やチラシの挟み込みで、積極的な周知を継続すべきかと思います。高齢者虐待防止月間には大々的にHPや広報紙で取り扱い、防止月間でなくても広報紙には必ず掲載するとより良いのではと思います。

・回答

【担当課：長寿介護課】

現在は年1回広報紙に高齢者虐待に対する記事を掲載していますが、ホームページなど他の媒体でも周知していきます。

施策：5－（２）－②

教育の場におけるハラスメント防止の啓発

意見

・内容

学校現場におけるハラスメント防止は、先生側への意識啓発と同時に、子どもたちへの教育も非常に重要だと思います。こういったことをされたらハラスメントなのか、ハラスメントを受けたときにはどこへ相談したら良いのかを、あらかじめ子どもたちに教えてあげる必要があります。また、先生からの通報制度のようなものもあると良いのかなと思います。例えば、ある先生が生徒にハラスメントをしている事実を、他の先生が知った時に、

他の先生にハラスメントがあった事実を通報するような仕組みです。通報先も明確に決めておく方が良いのではないのでしょうか。

・回答

【担当課：学校教育課】

毎月行われています校長会で、校長に不祥事防止について周知しています。また他の教職員については、不祥事防止リストをチェック事項としたものを各学校のタイミングで実施し、校長・教頭がチェックすることを防止対策として行っています。

全体に関すること

質問、意見

・内容

前から疑問でしたが、《現状と目標値》の表で「成果指標」のR1が「現状値」となっていますが、「過去値」あるいは「比較値」ではないのでしょうか。

辞書には現状が現在の状態、実績は実際に表れた成績、それまでに残してきた成績となっていました。

したがって、現状値と実績値の縦線を消して、一枠で「実績値」、その下に「年度」で良いと思います。

・回答

【担当課：協働安全課】

ご意見ありがとうございます。計画を見直す際には、参考にさせていただきます。

質問、意見

・内容

市民アンケートのデータ利用年度について、P2はR2とR4、P9☆2では、H30とR4で市民アンケートの結果データが、H30、R2、R4と混在しているのはなぜですか。

また、☆4去年は「―」だったのに、今年は「93.6」と入っています。市民アンケートを根拠とするなら、93.6（R4）と記載すべきでないのでしょうか。

・回答

【担当課：協働安全課】

市民意向調査は5年に1度実施（最近だと令和5年、平成30年度）、市民アンケートは市民意向調査の行われない年度（最近だと令和4年度、2年度）に実施しています。質問項目は調査ごとによって若干異なっており、共通の質問項目があるものについては成果指標として記入していますが、質問項目がないものについては、過去の調査の数字を掲載しています。

P9☆2の「18.3(H30)」は市民意向調査の結果ですので根拠欄に追記させていただきます。

P2☆4の「93.6」については、令和5年度の市民意向調査の結果となりますので、根拠欄に追記させていただきます。

質問、意見
・内容 P7の《現状と目標値》について、根拠がどちらも「男女共同参画に関する市民調査」で「現状値」☆1はH30で☆3はR2となっていますが、「男女共同参画に関する市民意識調査」を2回実施しましたか。 また、P7の根拠欄「市民意向調査」はH30とR5の2回ですよね。やはり年度を記載しておいた方が良いのではないかと思います。
・回答 【担当課：協働安全課】 ☆1の根拠に誤りがありました。正しくは市民意向調査で、令和5年度の実績値は「86.1」ですので、訂正します。 調査年度の記入については、次年度の参考とさせていただきます。

質問、意見
・内容 広報5月号に掲載された令和5年度に実施した市民意向調査結果の項目で「男女共同参画」は「重要度」「満足度」ともに平均以下の低い値になっています。多様性や働き方改革など人権尊重が声高に叫ばれる現在、この市民の意向調査の結果をどのように受け止め、施策の改善・打開策を行っていく予定ですか。 男女共同参画セミナーも年に一度ですが、かつては講演会とセミナーと隔年で行う、という取組を行っていくはずでしたがどう考えていますか。 ただ、講演会などでは参加者がどうしても受け身になってしまうので、能動的に参加できる機会を設けていただきたいと思います。今回は、調理実習がありますが、献立作り、買い物、色よく配膳などシャドーワークに気づき、それによって意識付けもできるような参加型ゲーム等も良いと思います。
・回答 【担当課：協働安全課】 市民意向調査の結果については、市民の関心度の低さが露呈したものと考えています。市民の関心を高められるよう検討を進めたいと思います。 また、セミナーについては、毎年実施する男女共同参画講座に加え、あいち男女共同参画財団が行うサテライトセミナーの共催先募集に応募しており、本市との共催が可能な年は実施する形で進めています。概ね2、3年に1回は開催ができています。

意見
・内容

市がいろんなことをやられているということに今まで全く知りませんでした。

子どもが学校からチラシをもらってきたり、広報誌なども毎月ポストの中に入っていますが、なかなかそれをじっくり読む暇がありません。

子どものことについて大事なことが書かれているであろうチラシも忙しくて見ることはできません。皆さんチラシはそのまま捨てていると聞いています。

図書館や市民プラザなどで啓発ポスターなど貼られたようなことも書いてありますがわざわざそこへ出かけて行ってみるということもありませんし、本を借りたら図書館からすぐ帰ってきてしまうので見たりすることもないです。

せっかく色々と市としてはやっていますがそれが相手に伝わる手段でなければ、絵に描いた餅になっているような気がしてなりません。

・回答

【担当課：協働安全課】

市の取組については、市民の目につきやすい方法を考え、柔軟に対応していく必要があると考えています。また、市民の関心を引く内容の事業を検討していきたいと思います。

意見

・内容

昨年度の委員会でも意見として出させて頂きましたが、委員メンバーから出た質問や意見につきまして、施策内容や実際の取り組みにどの程度反映されているのかを分かるようにして頂きたいです。委員からの意見等が、岩倉市の男女共同参画の取り組みにしっかり活かされているのかが分からないので、明確にして頂きたいです。

・回答

【担当課：協働安全課】

この推進委員会や行政推進会議では、概ね担当課から委員を選任しているため、指摘事項については、各課の取組に活かしていただくよう期待しているところです。

昨年度と様式を変えておらず恐縮ですが、ご意見を参考にさせていただきます。